そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりＮｏ．７
2022年１０月　３１日発行

１０月の聖句『見よ、兄弟が共に座っている。
なんという恵み、なんという喜び。』（詩編　１３３：１）

「兄弟」。近いようで、似ているようで、違いがあます。わたしの兄は、スポーツ万能で、数学が得意で、社交的でした。わたしはといえば、跳び箱、鉄棒も水泳も苦手で体育が大嫌いでした。性格は内気で、人見知りでした。違いありすぎの兄弟でした。

次に「座る」ことの象徴的意味を考えます。それは、行動主義的なことへの対極にあるように思えます。何か為すことは、できる人、できない人の格差を生じさせます。それに対して、座ることは、ある意味で平等性を回復させます。そして、座ることは休息をも意味します。さらに座ることは、聴くことに集中する、そのような意味もあります。

幼稚園では礼拝を、その教育・保育の基礎にしています。礼拝の時は、神の前で共に座る時です。神さまからの安らぎを受け、それぞれ違った個性を持つ一人ひとりが大切な存在として神に受け入れられていることを喜ぶ時です。

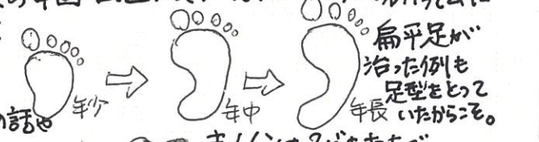
「みんなちがって　みんないい」。金子みすゞさんの詩のように神様は祝福します。

チャプレン　池田　亨

聖十字のとりくみを発表してきました。

8月末には道央地区の研修でビデオによる公開保育が聖十字のこどもたちの様子を何百人もの保育者の方々に見てもらう機会がありました。10月は全国認定こども園協会の中国・四国大会に、また、横浜の研究会に呼んで頂き、お話してきました。

聖十字のこどもたちの成長について
起伏のある園庭で遊ぶ中で
脚の治療器具が
不要になったお子さんの話や
体幹が
しっかりする様子

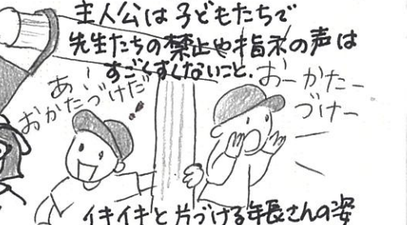


扁平足が
治った例も
足型をとって
いたからこそ。

私たちが子どもの力を信じ、やらせてみる保育ができるようになったのは、安全な素材と設計の今の園庭に変え、自主性を育てる保育をみんなで学び直したからなのです。

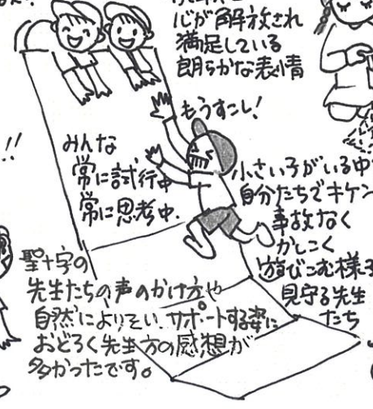
体の健康とは
もちろんなのですが
それだけではありません。
汗だくで走り回ってた子が
自分のタイミングで
手先に静かに
のめりこむ
美しい表情

主人公は子どもたちで
先生たちの禁止や指示の声は
すごくすくないこと。



イキイキと片づける年長さんの姿

遊び方やルールを
自分たちで相談し、
いっぱい話し、
いっぱい試し、
とっても仲良く
なっていくこと。



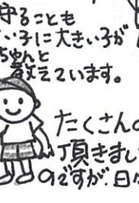
自分で選んで
思いっきり
挑戦し
心が解放され
満足している
朗らかな表情

それを
ていねいに
サポートする
先生方の美しい姿

高い所に柵を
つけたとたん

小さい子がいる中で
自分たちでキケンを回避し
事故なく
かしこく
遊びこむ様子
見守る先生
たち

じゅんばんを守ることも
小さい子に大きい子が
ちゃんと
教えています。



それ○○ちゃんはどう
おもったの？

先生と一緒に問題を
解決しようとする子どもたちの
真剣な表情…

聖十字の
先生たちの声のかけ方や
自然によりそい、サポートする姿に
おどろく先生方の感想が
多かったです。

たくさんの驚きの声、感動の声を
頂きました。皆さんにお伝えしたい
のですが、日々の仕事に追われています…！

工夫がいっぱいのお店ばかり！お買い物ごっこ

今年の冬の雪は多い！？

もうすぐ真っ白な冬ですね。聞くところによると、12月の北海道は日本海側でドカンと湿った大雪がくるそうです。交通障害が今から予想されていますので、バスの遅延などでご迷惑をおかけするかもしれません。どうかよろしくお願いします。バスと言えば、バスに乗る前と降りた後、どうぞお子さんと手をつないで安全に歩いて下さいね。お子さんが一人で走ったりして、ヒヤッとする場面もあるようです。事故にならないよう、どうぞよろしくお願いします。